

認知症になっても
わが町で安心して暮らすために

認知症あんしん
ガイドブック
認知症ケアパス



杉戸町マスコットキャラクター
すぎびよん

杉戸町高齢介護課

認知症あんしんガイドブックについて

認知症あんしんガイドブック(認知症ケアパス)とは「認知症の人の状態に応じた適切なサービス提供の流れ」をまとめたものです。

認知症の人やその家族が「いつ」「どこで」「どのような」医療や介護サービスが受けられるのかなど、認知症に対する不安を減らすことができるよう、進行に合わせて受けられる**杉戸町の様々な介護サービス**や**病院**、その他の支援などの情報がまとめてあります。

どんな
病気？

認知症について

認知症は脳の病気です

脳は生きていくために必要なほとんどの働きをしている司令塔です。それらの働きは、脳のなかで役割分担されていますが、いろいろな原因によって脳の細胞が死んでしまったり、縮んでしまったり、働きが悪くなったりするため、さまざまな障がいがおこり、**生活するうえで支障が出てくる状態(およそ6か月以上継続)になってしまう病気が「認知症」**です。

どんな症状が起こるのでしょうか

認知症になると記憶力や判断力が衰えます。これが認知症という病気の本質なので「**中核症状**」といわれます。また、中核症状のために周囲にうまく適応できなくなったり、心身が衰えたり、不安になることなどによって妄想や幻覚などの症状が出ることもあり、これを「**行動・心理症状(BPSD)**」といいます。

認知症の症状

よく見られる認知症の症状（中核症状）

もの忘れ？ (記憶障害)

新しい体験の記憶や、
知っているはずの記憶
の呼び起こしが困難に
なる障害



家はどこ？ (見当識障害)

時間、日付、季節感、
場所、人間関係などの
把握が困難になる障害



ゴミの捨て方が分からない (実行機能障害)

料理やゴミ出しなど
手順を考え、それに
そって実行することが
困難になる障害



変化に弱くなる (理解力・判断力の低下)

2つ以上のことの同時
処理や、いつもと違う
些細な変化への対応が
困難になる障害



予防や緩和が可能な症状（行動・心理症状）

行動・心理症状は、適切な治療
や周囲のサポートで認知症の人
が感じている精神的なストレス
などを取り除くことによって、
ある程度の予防や緩和が可能です。

- ・妄想 ・幻覚
- ・攻撃的な言動や暴力 ・無気力
- ・便をいじるなど排せつの混乱
- ・過食など食行動の乱れ など



認知症の進行と本人の様子(認知症ケアパス)

認知症の進行

日常生活は自立

認知症の疑い

認知症を有するが日常生活は自立

本人の様子(例)

- 5～10年前と比べても、仕事や社会生活上は変わらず、支障はない。

- 普段の生活はできているが、何か違和感がある。
- 仕事の失敗が増える。
- もの忘れの自覚がある。
- 日にち・曜日の間違いが増える。
- 名前や物の場所、置き忘れなどがある。
- 「あれ」「それ」等の代名詞が増える。
- ヒントがあれば思い出せる。
- 鍋を焦がすことがある。

- 普段の生活はできているが、新しいことや複雑なことは困難。
- 同じことを繰り返し聞く。
- 置いた場所が分からず探し回る。
- 買物や家計の管理はできるが、ミスが多くなる。
- 日にち・時間・曜日がわからなくなる。
- 薬の飲み忘れが目立つ。
- 外出の機会が減る。
- 不安が強くなる。

本人の備え

- ◆ 認知症のリスクとなる高血圧、糖尿病などの生活習慣病を管理しましょう。
- ◆ 家庭内で役割を持ち、継続しましょう。
- ◆ 仕事、ボランティア、趣味、地域活動などの楽しみを持ち、交流しましょう。→**P.10**
- ◆ 体を動かす習慣を持ちましょう。→**P.10**
- ◆ 気になる症状や、将来どんな介護を受けたいか、自分の思いを周りの人に伝えておきましょう。

家族や周囲の方の備え

- ◆ 早めに受診し、病気を正しく理解しましょう。→**P.1**、**P.6**、**医療機関一覧**
- ◆ 身内などに本人が認知症であることを伝え、理解してもらえようようにしましょう。
- ◆ 困ったことがあったら抱え込まず、早めに担当ケアマネジャーや地域包括支援センター→**裏表紙**に相談しましょう。

こんなときには…

まだまだ元気！
認知症を予防したい→**P.13**



もの忘れが心配。もしかして認知症かも？→**P.2**

認知症をチェックリストで確認→**P.5**



認知症の専門医に相談したい→**医療機関一覧**

病院に受診するときのコツを知りたい→**P.6**



認知症の人への接し方を知りたい→**P.9**、**P.11**

地域包括支援センターに相談したい→**裏表紙**

誰かの見守りがあれば 日常生活は自立

- ❑ 季節・年が分からなくなる。
- ❑ 季節にあった服が選べなくなる。
- ❑ 薬の管理ができない。
- ❑ 慣れた場所に行くことはできる。
- ❑ 電話・訪問者の対応が難しい。
- ❑ 食べ物が目についたら、いくらでも食べようとする。
- ❑ 買物で必要なものを必要なだけ買うことができない。支払いで混乱する。
- ❑ 外出先から家に戻れない。

日常生活に手助け や介助が必要

- ❑ ついさっきのことも忘れる。
- ❑ 一人で着替えや食事がうまくできなくなる。
- ❑ 一人で買い物ができない。
- ❑ 入浴を忘れる、嫌がる。
- ❑ 慣れた場所に行くことができない。
- ❑ 「物を盗られた」など妄想が多くなる。
- ❑ 歩行が不安定になる。

日常生活のほとんどに 介護が必要

- ❑ 言葉が減り、声かけの反応が少なくなる。
- ❑ 家族の顔や使い慣れた道具が分からなくなる。
- ❑ 歩行に支障が出る。
- ❑ 入浴に介助を要する。
- ❑ 尿失禁や便失禁が増える。
- ❑ 飲み込みが悪くなる。
- ❑ 寝たきり状態になり意思の疎通が難しくなる。

- ◆ 「かかりつけ医」を持ち、受診を継続しましょう。
- ◆ 介護保険などのサービス➡**P.13**をうまく利用し、人との交流も続けましょう。
- ◆ 食事や買物、身の回りの生活に必要なサービスを利用しましょう。
➡**P.13**

- ◆ 介護する家族の健康や生活を大切にしましょう。
- ◆ 家族だけで支えようとせず、介護保険などのサービス➡**P.13**や認知症カフェ➡**P.11**を積極的に利用しましょう。
- ◆ 外出時に名前や連絡先が分かるものを身につけておきましょう。➡**P.11**
- ◆ 体調を崩しやすくなるので健康管理に注意し、体調の変化があれば早めに主治医に相談しましょう。
- ◆ 本人の様子に変化があったら、担当ケアマネジャーや地域包括支援センター➡**裏表紙**に相談しましょう。

- ◆ 介護保険などのサービス➡**P.13**や認知症カフェ➡**P.11**を積極的に利用しましょう。
- ◆ その人らしい生活が続けられるよう家族で話し合しましょう。
- ◆ 終末期(看取り)に備えましょう。



認知症の人や家族の話が聞きたい、話したい、交流したい➡**P.11**



お金の管理が心配になってきた➡**P.12**



食事や買物、入浴、排せつ、健康管理などの支援を受けたい➡**P.13**



介護に疲れた、悩んでいる➡**P.1**、**裏表紙**



徘徊や行方不明などが心配➡**P.11**

認知症に早く気づくための チェックリスト

やってみよう！



ものの忘れがひどい (いつ頃から:)

- ☐ 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- ☐ 同じことを何度も言う・問う・行う
- ☐ しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- ☐ 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

判断・理解力が衰える

- ☐ 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- ☐ 新しいことが覚えられない
- ☐ 話のつじつまが合わない
- ☐ テレビ番組の内容が理解できなくなった

時間・場所がわからない

- ☐ 今日が何月何日か分らない
- ☐ 約束の日時や場所を間違えるようになった
- ☐ 慣れた道でも迷うことがある

人柄が変わる

- ☐ 些細なことで怒りっぽくなった
- ☐ 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- ☐ 自分の失敗を人のせいにする
- ☐ 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

不安感が強い

- ☐ ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- ☐ 外出時、持ち物を何度も確かめる
- ☐ 「頭がおかしくなった」と本人が訴える

意欲がなくなる

- ☐ トイレを失敗することが増えた
- ☐ 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- ☐ 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- ☐ ふさぎ込んで何をするのも嫌がる



認知症で受診するときのコツ

①まずはかかりつけ医に相談

かかりつけ医には、本人や家族を日頃から知っている強みがあります。必要に応じて専門機関を紹介してくれます。



②気になることをまとめておく

受診の前に、以下のことをメモしておきましょう。

メモを書いた人		本人との関係	(同居・別居)
◆「認知症に早く気づくためのチェックリスト(P.5)」で気になることをまとめておきましょう。			
◆受診しようと思ったきっかけになった出来事は何ですか？			
◆一番困っていることは何ですか？			
◆現在受診している医療機関			
◆これまでにかかったことのある病気やケガ (脳梗塞や脳出血など脳の病気・高血圧・うつ病・アルコール依存症・交通事故・その他)			
介護保険の申請	未申請	申請中	事業対象者 要支援 1・2 要介護 1・2・3・4・5
介護サービスの利用	なし・あり		居宅介護支援事業所/ ケアマネジャー名

認知症に関するQ&A

Q もの忘れと認知症の違いはありますか？

多くの人が経験する物忘れ(老化による物忘れ)と「認知症の物忘れ」は違います。

例えば、「老化による物忘れ」は物をどこに置いたのかは忘れてしまっても、物を置いたこと自体は覚えています。(体験そのものは覚えているため、忘れたことに関するヒントがあれば思い出すことができる)それに対して、「認知症の物忘れ」は、物を置いたこと自体を忘れてしまいます。(体験したことを全部忘れてしまう)

認知症の場合は覚える力が衰えるため、数分前にあったことも忘れるようになっていきます。認知症が進行すると、自分の年齢や住んでいる場所が分からなくなるなど日常生活にも支障をきたします。



Q いつも同じものを買ってきてしまいます・・・

認知症では新しい事を覚えるのが苦手になるため、買い置きしている物を把握しておくことは難しくなり、今までの生活で使い慣れた物や食べ慣れた物を毎回買ってきてしまうことがあります。しかし、できることは続けていただき、買い物をしようとする意欲は大切にしたいですね。

..... 対応の工夫！

●本人の視点に立って考えてみる

同じものをいくつか買ってきてしまっても、「また買ってきた」「もう買わないでと言ったでしょ」など、そのことをあからさまに指摘することは避けましょう。

●買うものによっては、工夫次第で本人の思いのままに

例えば、ニンジンをいくつか買ってきてしまった場合、家族や近くの兄弟や親戚、近所の人に協力してもらって消費できるものであれば、買うことをやめてもらわなくてもよいかもしれません。買い物へ行く前に「買うものリスト」を書くこともいいですね。

●困ってしまう場合は、周りの人に協力してもらう方法も

本人や家族が困ってしまう場合は、買い物先のお店の人に協力してもらう方法もあります。

●クーリング・オフ制度を使う

訪問販売、電話勧誘販売などの場合は契約後一定の期間内であれば、無条件で契約が解除できる「クーリング・オフ制度」を利用できる可能性がありますので、消費者ホットライン(局番なしの188)に電話をして相談してください。

Q 本人が病院受診を拒否しています

本人は自分自身の異変に気づきつつも、自分が認知症である事を認めたくない気持ちや、これから先の不安でいっぱいになっています。まずはなぜ病院受診を拒否するのか、本人の視点から「不安」や「不満」などの困りごとを見つけましょう。

例えば、病気と言われるのが「不安」、待ち時間が長くて疲れることが「不満」、行く必要がない(と思っている)のに「行け」と言われる「不満」などです。その人が持っている不安や不満、困りごとを知ることから始めてみましょう。

..... 対応の工夫！

早く病院受診すれば症状を遅らせたりできること、本人のことを心配していること、本人や家族のために受診してほしい事を説明していくことも大切です。本人と家族、病院との信頼関係を作ることを目的に、まずは病院受診をすすめてみましょう。

Q 私がものを盗んだと疑われて困っています...

認知症で起きやすい被害妄想の一つです。大切なモノをしまい込んで忘れてしまい、いざ必要なときに見つからず、「誰かがとったに違いない」と身近な人が疑われることがあります。また認知症による記憶障害や見当識障害、幻覚などといった症状があることにより常に不安な気持ちを持っています。

..... 対応の工夫！

●怒ったりせず、不安に耳を傾ける

「通帳がない。盗まれた」というときは、「盗まれたのではなく、お母さんがしまったのよ」などと、本人の言葉を否定することは避けましょう。「それは困ったね」「一緒に探そうか」と本人の気持ちに寄り添う言葉をかけましょう。

●一緒に探し、本人が見つけれられるよう導く

一緒に探し、本人が見つけた時には「あってよかった」と一緒に喜びましょう。もしも自分が先に見つけた場合には、「ここにあった」と伝え、「なぜそこにあったことを知っているの？ やっぱり盗んだのね」とかえって疑われてしまうこともあります。そこで、「こっちの方も捜してみたほうがいいよ」と見つけた場所へ誘導し、本人に見つけてもらうようにしましょう。

●本人がしまい込みそうな場所を把握しておく

●別の話題に変えてみる

ものとられ妄想が出ているときには、興奮していることが多いので、一緒に探しながら本人の好きな話題など、別の話を振ってみるのもよいでしょう。



家族の皆さまへ ～認知症の人への接し方～

認知症の症状には、本人が最初に気づくことが多いようです。

認知症が進むと、段取りがうまくできないため、今までできていたのにできなくなることで徐々に増えてきます。

また、認知症特有の「言われても思い出せないもの忘れ」が重なると、多くの人は何かが起こっているという不安を感じ始めます。

誰よりも心配し、苦しみ、悲しんでいるのは認知症になった本人だということを考えながら接することが大切です。

認知症の人への対応の心得 “3つの「ない」”

1. 驚かせない
2. 急がせない
3. 自尊心を傷つけない

具体的な対応の7つのポイント

① まずは見守る

認知症と思われる人に気づいたら、本人やほかの人に気づかれないように、一定の距離を保ち、さりげなく様子を見守ります。

近づきすぎたり、ジロジロ見たりするのは禁物です。

② 余裕をもって対応する

こちらが困惑や焦りを感じていると、相手に**も伝わって動揺**させてしまいます。自然な笑顔で応じましょう。

③ 声をかけるときは1人で

複数で取り囲むと恐怖心をあおりやすいので、**できるだけ1人**で声をかけます。

④ 後ろから声をかけない

一定の距離で相手の視野に入ったところで声をかけます。唐突な声かけは禁物です。「何かお困りですか?」「お手伝いしましょうか?」など**優しく声をかけましょう**。

⑤ 相手の目線に合わせて

小柄な方の場合、体を低くして**目線を同じ高さ**にして対応しましょう。

⑥ おだやかに、はっきりと

高齢者は耳が聞こえにくい人が多いので、**ゆっくりとはっきりした滑舌**を心がけましょう。**早口、大声、甲高い声**でまくしたてないこと、その土地の方言でコミュニケーションをとることも大切です。

⑦ 相手の言葉に耳を傾けて、ゆっくり対応する

認知症の人は急がされるのが苦手です。同時に複数の問いに答えることも苦手です。相手の反応をうかがいながら会話をしましょう。

たどたどしい言葉でも、相手の言葉をゆっくり聴き、何をしたいのかを**相手の言葉を使って推測・確認**していきましょう。

認知症予防のために

認知症予防

糖尿病や高血圧などは認知症発症に関与していると言われています。

バランスの良い食事、適度な運動、早寝早起きなど、健康的な生活習慣を送ることが一番の予防方法です。

運動

持続的に酸素を取り入れることで、酸素と血液が脳内に回り認知症の予防につながります。健康な方は、30分程度の有酸素運動を目安にしましょう。

やりすぎは逆効果と言われています。

例：ウォーキング、水泳、グランドゴルフ

脳の活性化

脳を働かせることで、認知機能の低下を予防します。楽しみながら行くと、更なる予防になります。

例：パズル、折り紙、健康麻雀、将棋

食事

カロリーの摂りすぎや野菜不足、偏った食生活は、生活習慣病だけではなく、認知機能の低下も早めると言われています。

◆柿やオレンジ（ビタミンC）、ホウレン草やカボチャ（ビタミンE）、ビタミンC、ビタミンEは抗酸化物質で、血管のサビを防ぎます。

◆イワシ・鯖・鰯、カツオやマグロなど（DHAやEPA）青魚に含まれるDHAやEPAは血液をサラサラにする効果があります。

また、「噛む」ことは脳への刺激になり予防に効果があると言われています。さらに、入れ歯より自分の歯が残っているほうが、認知症の発症率が低いとの研究結果があります。

杉戸町 介護予防事業のご案内

【問合せ】 杉戸町役場 高齢介護課
地域包括支援センター担当
TEL33-1111（内線302・303）

まいにち体操教室

座ったまま無理なくできる簡単な体操と介護予防に関する講話、体力測定などを行います。
会場：町内公共施設 週1回 90分

げんきSUGI体操

日常生活に欠かせない腕や足の筋肉を鍛える介護予防の体操です。
おもりの入ったバンドを手首や足首に巻き、ゆっくりと動かしていきます。
会場：集会所、シニアサロン等

げんきSUGI体操のボランティアを養成する講座「げんきSUGI体操サポーター養成講座」も行っています。



杉戸いきいきあっぷサポーター養成講座

（いきいきあっぷ体操教室）

介護予防のための体操を指導するボランティアを養成する講座です。研修後は自治会館や集会所等に外向き、座ったままできる簡単な体操「いきいきあっぷ体操教室」をボランティアとして指導します。



認知症予防教室

認知症について正しく理解する講座や、自宅でも続けやすいコグニサイズ（頭と体を使った認知症予防体操）、脳トレ、栄養や口腔ケアなど認知症予防につながる生活習慣を身につけていく教室です。

支え合いの取り組み

認知症カフェ(すぎびよんカフェ)

身近にある「カフェ」のように
気軽にお茶を飲みながら、
認知症の方やご家族が
相談でき、ごく自然に安心
して過ごせる場所です。



日時: 毎月第3金曜日 10:00~12:00
会場: ウエルシア 杉戸倉松店 ウエルカフェ

【問合せ】 杉戸町役場 高齢介護課 地域包括支援
センター担当 TEL33-1111(内線302・303)

公益社団法人 認知症の人と家族の会

認知症の人の理解を深め、
家族同士が認知症介護の
情報交換や悩みを共有
できる場です。
電話相談もおこなって
います。



【問合せ】 認知症の人と家族の会 埼玉県支部
さいたま市北区日進町1-709
TEL048-667-5553 FAX048-667-5953
電話相談(月・火・金10時~15時)

杉戸町要援護者あんしん見守りネットワーク

地域にお住まいの高齢者、障がい者などを
地域全体で『声かけ』や『見守り』で支えます。
地域包括支援センターと連携し、「気になる」「心配」と感じた方に対し支援をおこないます。

<関係機関>

警察署、消防署、
医師会、薬剤師会、金融機関、
郵便局、新聞店、
介護サービス事業所など

【問合せ】 杉戸町役場 高齢介護課 地域包括支援
センター担当 TEL33-1111(内線302・303)

認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく
見守る「認知症サポーター」を養成しています。
認知症になっても安心して暮らせる地域を築くため
に、あなたもサポーターになってみませんか。

対 象: 10名以上の人が集まる、町内会や会社、
サークルなどの団体
内 容: 認知症に関する基礎知識、
認知症の人や家族に対する
支援のあり方等

受講料: 無料



【問合せ】 杉戸町役場 高齢介護課 高齢者福祉
担当 TEL33-1111(内線317・318)

認知症声かけ訓練

地域で見守りを行う仕組みづくりをすすめるため、
「認知症声かけ訓練」をおこなっています。

認知症に対する理解
を深め、訓練を通じて
声かけのしかたを
学びます。



【問合せ】 杉戸町役場 高齢介護課 地域包括支援
センター担当 TEL33-1111(内線302・303)

認知症高齢者見守りシール

認知症等により、行方不明の心配のある高齢者の
方の衣服等にシールを貼り付けておくと、発見者が
シールのQRコードをスマートフォンで読み取ること
ができ、あらかじめ登録した方(家族、介護者など)
に、伝言板機能を通じて、発見者情報メールが
届きます。



【問合せ】 杉戸町役場 高齢介護課 地域包括支援
センター担当 TEL33-1111(内線302・303)

成年後見制度

認知症などにより判断能力が低下している人を法的に保護し支援する制度です。裁判所が、本人の判断能力の程度により「法定後見人」を決定し、本人の意思を尊重し本人に代わり財産を管理したり、必要な契約を結び、本人の生活や財産を守ります。



【問合せ】 各地域包括支援センター(裏表紙)

あんしんサポートねっと

(日常生活自立支援事業)

財産管理が困難になった方が安心して生活が送れるように定期的に訪問し、福祉サービスの利用や暮らしに必要なお金の出し入れのお手伝いをします。



【問合せ】 杉戸町社会福祉協議会 Tel.32-7402

認知症初期集中支援チーム

認知症の人や認知症が疑われる人のご家庭を訪問し、認知症についての困りごとや心配などを伺います。ご本人やご家族の状況に合わせた医療やサービスにつなげる支援を行います。



【問合せ】 各地域包括支援センター(裏表紙)

認知症地域支援推進員

【問合せ】 各地域包括支援センター(裏表紙)

認知症の人と家族、医療、介護をつなぐ調整役です。認知症に関する相談をお受けします。医療と介護の連携などでの困りごとの相談をお受けします。



地域のまるごと相談

相談窓口	住所	電話	受付時間
地域丸ごと何でも相談窓口 北葛北部医師会 地域ケア拠点推進室 菜のはな	〒340-0153 幸手市吉野 517-5	(代表電話) 0480-40-1311 (携帯電話) 080-9685-3378	月曜日～金曜日 9:00～17:00

高齢者に関するよろず相談を看護師などの専門職が24時間365日体制でお受けしています。
お気軽にご相談ください。

すぎと高齢者よろず電話相談

新型コロナの事が不安
眠れない誰か話を聞いてほしい
不審な電話がかかってきた
お年寄りの介護で困っている
24時間365日いつでも

0120-345-604

杉戸町が委託するALSOK あんしんケアサポート(株)の専門職等が対応を行います

介護保険サービス

※介護保険の利用には、**申請が必要です**。

主な介護保険サービスのご紹介です。
介護度によって利用できるサービスが異なります。

ケアマネジャー

介護が必要な方に状態に応じて、介護保険サービス等の利用を支援します。

訪問介護

ホームヘルパーが自宅を訪問し、食事や入浴、排せつの介助などの生活を支援します。

通所サービス

・通所介護(デイサービス)

デイサービスセンターで、食事・入浴などの介護や機能訓練が日帰りで受けられます。

・通所リハビリテーション(デイケア)

介護老人保健施設や病院・診療所で、日帰りの機能訓練などが受けられます。

・認知症対応型通所介護

認知症の方を対象にした食事や入浴、日常生活動作訓練などが受けられる日帰りのサービスです。

介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)

在宅生活が困難な常時介護が必要な方が利用できます。

介護老人保健施設

病状が安定した方がリハビリや介護を受ける施設です。

申請の窓口は、**杉戸町役場(高齢介護課)**です。申請は本人のほか家族でもできます。

申請を地域包括支援センター(裏表紙)等に依頼することもできますのでご相談ください。

訪問看護

看護師が自宅を訪問し、医師の指示に基づいて療養上の世話や必要な治療の補助を行います。

訪問入浴介護

移動入浴車で自宅を訪問し、ベッドの横で入浴を行います。

福祉用具・住宅改修

車椅子や歩行器など日常生活の自立を助ける用具が貸与できます。
手すりの取り付けや段差の解消など、生活環境を整えるための住宅改修ができます。

短期入所生活介護 (ショートステイ)

短期間施設に宿泊しながら介護や機能訓練などを受けることができます。

認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)

認知症の方が少人数で共同生活をする入所施設です。

~MEMO~

あなたのお住いの地区を確認し
担当の地域包括支援センターへ
お気軽にご相談ください

杉戸町JMA地域包括支援センター

〒345-0046 杉戸町高野台南1-1-9 高野台ピージビル102
電話 0480-37-0002

担当地区

西地区(下野・下高野・大島・茨島・高野台東・高野台南・高野台西)

杉戸町すぎと地域包括支援センター

〒345-8502 杉戸町清地2-9-29 杉戸町役場内
電話 0480-36-2620

担当地区

中央地区(杉戸・内田・清地・倉松・本島)

杉戸町良宝園地域包括支援センター

〒345-0014 杉戸町大字才羽2108-1 特別養護老人ホーム良宝園内
電話 0480-38-1120

担当地区

東地区(大塚・北蓮沼・才羽・佐左工門・遠野・並塚・広戸沼)

泉地区(木津内・鷺巢・木野川・宮前・目沼・屏風・深輪・椿)

南地区(堤根・本郷)



認知症になっても安心して暮らすために
「認知症あんしんガイドブック」を活用しましょう。



「認知症あんしんガイドブック」発行 杉戸町役場 高齢介護課
町ホームページ (<http://www.town.sugito.lg.jp/>) でもご覧いただけます。